

平成30年度 福祉保健活動拠点事業報告書

1 施設名

港北区福祉保健活動拠点

2 事業報告

(1) 施設の適正な管理・運営について

ア 施設の維持管理について

<開館時間>

4月1日から3月31日までの午前9時から午後9時まで開館しました。(日曜祝日は午前9時から午後5時まで)

ただし、12月29日から1月3日及び毎月第1日曜日(10月は第3日曜)は定期清掃のため休館としました

<建物・設備の保守点検>

○空調機保守点検(2回)実施

○消防設備点検(2回)実施

○受水槽清掃(1回)実施

○エレベータ保守点検(12回)実施

○ポンプ保守点検(2回)実施

○水質検査(1回)実施

○夜間巡回、出入口施錠(毎日22時頃)

○電気関係保守点検(1回)実施

*上記は、福祉保健活動拠点が入居しているビル管理会社が実施

<清掃業務について>

○専有部：2階 区社協事務室

3階 多目的研修室、団体交流室Ⅰ、団体交流室Ⅱ、点字製作室、録音室、対面朗読室、多目的トイレ

①日常清掃(3階多目的トイレのみ)(月～金曜日 午前8時～11時)

床面の水拭き、衛生陶器類の洗剤による洗浄及び拭き、化粧鏡の乾拭き、トイレトペーパー・水石けんの補充、汚物の処理

②定期清掃(毎月第1日曜日、午前9時～午後5時実施)

洗剤による洗浄及び樹脂ワックス塗布

<警備業務について>

基準時間(日～土曜日の午後9時～翌日午前8時45分、年末年始は終日)において、警報機器の作動開始から作動解除まで実施しました。

また、職員による館内の定時巡回(午前8時45分、午後5時、午後9時)を行いました。

イ 苦情受付体制について

<苦情への対応手順>

本会苦情解決規則(平成13年9月25日制定)に基づき、苦情に限らず要望等も含め受付記録として供覧・職員会議の議題とし、職員間で事実確認や対応及び再発防止策の検討・共有を図りました。(件数：1件)

<苦情解決の仕組みに対する市民への周知方法>

館内に「ご意見箱」を設置し、寄せられたご意見に対しては随時対応するとともに、対応結果について掲示により周知しました。また、11月に「窓口満足度調査」を実施し、利用団体からのご意見等の収集に努め、改善に取り組みました。

(窓口満足度調査回答者数：135件/意見を含めた集計結果と改善宣言を掲出/点検確認手順や窓口対応接遇の職員全体会議での検討、拠点利用調整会議にて改善等周知)

ウ 緊急時(災害・事件・事故等)の体制及び対応について

<連絡体制・役割分担>

危機管理マニュアルや消防計画及び避難確保計画を作成し、人事異動等の都度見直しを行うとともに、職員全体会議及び自主防災訓練(年2回)にて緊急時連絡体制、災害時役割分担の確認を行いました。

<地域や関係機関との連携体制>

災害時対応として港北区役所並びに横浜市社協と緊急連絡体制を取っており、区、市社協及び市内17区社協と連絡がとれるよう、無線を整備しています。

また、港北区災害ボランティア連絡会とも連携を図り、12月8日に行われた港北区災害ボランティア連絡会主催の災害ボランティアシミュレーション訓練を区とともに実施しました。

自主防災訓練についても、拠点利用団体の参加を得て実施しました。

<事故防止への取り組み>

特に災害時や事故発生時に係る対応は、昼夜の緊急連絡体制整備(事務局内及び区行政を含む)や発災直後の動員体制、実施業務を特定しておくなど、より詳細かつ具体的なものとしています。緊急時・事故対応(災害時含む)マニュアルを整備し、職員へ周知・徹底するとともに、災害時に業務が早期に復旧できるようBCP(災害時業務継続計画)を整備しています。また、午前8時45分、午後5時、午後9時(閉館前)に職員による定期巡回を行い、事故を未然に防げるよう努めました。

加えて、拠点利用団体及び港北消防署の協力を得て、自主防災訓練を3月15日に実施しました。

また、館内(事務所内)にAEDを設置し、廊下等に案内を表示しています。

エ 個人情報保護の体制及び取組について

本会の個人情報の保護に関する規程及び個人情報取り扱いマニュアルを全職員へ周知し、個人情報の取り扱いに関する研修を実施しました。

また、規程等に基づき、業務上使用する様式類に個人情報取得に関する説明を加える、記録カードを施錠可能なロッカーに必ず保管するなど、保有する個人情報の適正な取り扱いを行い、個人の権利・利益の保護に努めました。

オ 環境への配慮及び取組について

<再利用・再使用・リサイクルに関する取組み>

- 拠点各室利用時のゴミ持ち帰りの徹底
- コピー等に裏紙使用
- 印刷機のインクボトルやコピー機のトナーボトルの業者引き取り
- 市役所ごみゼロルート回収に参加
- 使用済みインクカートリッジの回収箱設置
- 再生利用可能なものは再生利用できるようゴミの分別を徹底

<Co2 排出抑制に関する取組み>

職員へのクールビズ、ウォームビズの徹底及び、拠点利用団体へ室温設定の協力を呼びかけました。

(2) 職員配置・育成について

ア 職員体制について

| | |
|-------|----|
| 常勤職員 | 1名 |
| 非常勤職員 | 5名 |

イ 職員の研修計画について

職員全体会議（年3回）の場を活用し以下の内部研修を実施するとともに、市社協などが実施する外部研修に職員が参加しました。

〔内部研修〕

- 個人情報保護、コンプライアンス推進について
- 水害時避難計画、BCP（災害時業務継続計画）について
- AED使用方法について
- 感染症予防について
- 人権研修（LGBTについて）

〔県・市社協研修〕

- 職員全体研修
- 新人研修
- 新任フォローアップ研修
- 苦情解決研修
- ボランティアコーディネーター研修
- 各業務、段階別研修
- 人権研修

ウ 職員の情報共有の方法、連携等について

職員会議（月2回）及び拠点職員ミーティング（3か月に1回程度）の場を活用し、拠点利用方法などについて職員間で共有、検討を行いました。

その他情報共有が必要な事柄については事務所内に設置した掲示板を活用するとともに随時朝礼・夕礼時に情報の共有を図りました。

(3) 事業内容

ア 地域の現状（課題）及び、これに対する施設の基本的な取り組み

<課題>

港北区内の各地区で福祉保健活動団体の担い手不足、ボランティア不足、現活動者の高齢化が課題として挙げられています。

<対策>

ボランティア登録者を各地域の活動団体へ紹介しました。また、既存のボランティアグループとの共催によるボランティア講座等を通じて、新規ボランティア活動者の開拓に努めました。あわせて、西部方面ボランティアセンター「やすらぎの家」など地区に出向いて小中学生向け福祉講座を行い、福祉啓発を図りました。

イ 関係団体・機関等、ボランティア団体・当事者団体、地域団体との交流・連携について

1 会員組織としての区社協の特性を活かし、区内で活動する多様な団体との連携を図りました。

○各分科会の開催

（保育所分科会、民生委員児童委員分科会、地区社会福祉協議会分科会、連合自治会町内会分科会、障害者セーフティネット分科会、ボランティア・市民活動分科会、在宅福祉分科会）

○地区社会福祉協議会合同会議及び事務局長会議の開催

○地域ケアプラザコーディネーター連絡会の開催

○拠点利用調整会議の開催

○たすけあい型ボランティア団体交流会の開催

○港北区ボランティア連絡会定例会、港北区作業所連絡会定例会、港北区地域自立支援協議会等への参加

○港北区施設間連携会議への参画

2 職員ごとに担当地区を決め、地区別計画推進委員会等の会議に出席しました。あわせて、各地域ケアプラザ定例カンファレンスに参加し地区課題の把握に努めるとともに、地域の行事に積極的に参加し活動支援を行いました。

また、集まった情報については、地区別及び事業別のフォーマットにまとめ、職員会議の場を活用し、職員間の情報共有や協議を行いました。

3 災害ボランティア連絡会の事務局として、活動支援を行いました。

また、区役所、災害ボランティア連絡会と三者協定も締結しています。

4 講座等を通じて、子どもの居場所など「居場所づくり」の啓発に努めました。

ウ ボランティアに関する情報の提供及びその活用について

1 地域新聞（新聞の折込）の紙面を活用してボランティアセンター通信を年4回、各回67、500部発行し情報提供を図りました。

2 区社協ホームページ及び市ボランティアセンターのメールマガジンを活用し、ボランティア募集情報の掲載及び港北区内ボランティア、当事者活動団体情報の提供を行いました。あわせて、地域ケアプラザ等関係機関への配架依頼を行いました。

3 区役所1階の区民活動応援コーナー及び港北区福祉保健活動拠点内にボランティア募集情報を掲示しました。

4 ボランティア情報を月1回、各回50部発行し周知に努めました。

エ ボランティアの育成・支援

<講座の開催>

- ボランティア体験講座ボラリーグこうほく（共催：NPO 法人びーのびーの）
開催月：7～8月、参加者：39人
内 容：区内の保育園や子育てサロン、高齢者施設でのボランティア体験を行いました。
- 夏休みボランティア体験講座（小学生対象）
開催月：7月、参加者：24人
内 容：車いすでの買い物やアイマスクでの調理体験、手話体験を行いました。
- 夏休みボランティア体験講座（中学生対象）
開催月：7月、参加者：26人
内 容：保育園及び高齢者施設でのボランティア体験を行いました。
- シニア大学（共催：区老人クラブ連合会）
開催月：7月、参加者：40人
内 容：カリキュラム1枠の中で、ボランティアセンターの紹介と活動団体の代表者による体験談を交えた活動紹介を行いました。
- 傾聴講座（共催：ボランティアグループ「あみねっと」）
開催月：9月（全2回）、参加者：延べ113人
内 容：傾聴に関する講義、ロールプレイを行いました。
- 人を集める広報力UP講座
開催月：11月、参加者：16人
内 容：参加者同士でチラシ作成するワークショップを通して、伝わる「ことば」の作り方を学びました。
- 横浜市障害者ガイドボランティア研修
開催月：12月、参加者：9人
内 容：障がいに関する講義を通じて、障がいの理解啓発とボランティア育成を図りました。
- 災害ボランティア連絡会シミュレーション訓練
開催月：12月、参加者：66人
内 容：災害ボランティアセンターの立ち上げ訓練と、ボランティアの受付やニーズ把握と送り出し等についてシミュレーションを行いました。
- 音声訳ボランティア初級者講座（共催：港北録音グループ）
開催月：1～3月（全9回）、参加者：延べ251人
内 容：音声化の基礎、音声訳表現技術について学び、担い手育成を図りました。
- 障がい児「お出かけサポート」講習会
開催月：1月、参加者：32人
内 容：障がいのある方の外出の付添い支援に関するニーズと必要性について、講義を行いました。
- 精神保健ボランティア講座
開催月：2月（全3回）、参加者：延べ32人
内 容：精神保健福祉の啓発やボランティア活動の新規獲得及びスキルアップを諮ることを目的として、講義及びサロン等の見学を行いました。
- たすけあい型ボランティア団体交流会
開催月：2月、参加者：33人
内 容：区内で生活支援を行っているボランティア団体から見た課題や解決方法の模索、情報共有を行いました。
- 高ちゃんのお役立ちボラ講座
開催月：2月、参加者：36人
内 容：ボランティア活動者向けに、すぐに実践できる手遊びや歌などのレクリエーション実演講座を行いました。

○障がいのある子のための通学の応援してみませんか？

(ガイドボランティア講習会)

開催月：2月、参加者：13人

内容：障がいに関する講義を通じて、障がいの理解啓発とボランティア育成を図りました。

○講座『なぜ今こどもの居場所が必要なのか』

開催月：2月、参加者：58人

内容：子どもの居場所の意義を考えるとともに、実際の地域活動を知ってもらうため、講義と活動団体によるパネルディスカッションを行いました。

<ボランティア支援>

○助成金事業の実施による、区内を拠点として活動する福祉保健活動団体及び当事者団体の活動支援（30年度実績253件・20,828,000円）

○各種ボランティア保険の加入促進

○民間助成金情報の掲出、情報提供

オ ボランティアに関する相談・紹介業務

ボランティアコーディネーターを配置し、ボランティアの相談・紹介などの業務を行いました。（相談件数：143件、うち紹介件数：105件）

また、ボランティアセンターコーディネーター会議を毎月実施し、困難ケースへの対応協議等を行い、コーディネートの質の向上を図りました。

○新規ボランティア登録者数

個人登録：70名 団体登録：6団体

○ボランティアコーディネーター数

依頼件数：143件 紹介件数：105件 調整中：19件

調整つかず：4件 取り下げ：13件 情報提供：2件

カ メールボックス、ロッカーの貸出業務

ロッカー(大12個、中10個、小16個)及びメールボックス24個の利用申し込みを3月に募り、抽選を行いました。

ロッカー利用率：100% (38/38)

メールボックス利用率：46% (11/24)

キ 地域福祉保健計画の推進への取り組みについて

ひっとプラン港北（港北区地域福祉保健計画）の推進の一環としてボランティア人材の育成、ボランティア情報の収集・発信に関する取組を実施しました。（詳細は上記掲載）

あわせて、昨年度挙げられた課題をもとに「広報戦略」「情報」をテーマとした研修を実施したほか、「障がい理解」をテーマとした区民フォーラム（港北ほくほくフェスタの一環として実施）、及び区民アンケート調査実施により、ひっとプラン港北の推進と啓発を図りました。

また、区全体計画の推進を図るとともに、地区別計画の推進のため、港北区役所・地域ケアプラザとともに地域支援に努めました。

ク 貸し館の利用実績及び利用促進の取組について

パンフレットや掲示物の常設と、区社協ホームページを活用した利用案内を行いました。また、定期清掃や会場申込の年間予定日を掲出し、団体の活動計画に役に立てるようにしました。あわせて、利用団体に快適に利用いただけるよう、備品等の入れ替えを行いました。

年間利用件数 : 2,865件

年間平均稼働率 : 50.3%

| | 利用件数 | 利用率 |
|--------|------|-------|
| 団体交流室 | 905 | 61.3% |
| 多目的研修室 | 613 | 60.7% |
| 点字製作室 | 299 | 25.7% |
| 録音室 | 604 | 59.8% |
| 対面朗読室 | 444 | 44.0% |

平成30年度 「港北区福祉保健活動拠点」 収支予算書及び報告書

収入の部 (税込、単位：円)

| 科目 | 当初予算額 (A) | 補正額 (B) | 予算現額 (C=A+B) | 決算額 (D) | 差引 (C-D) | 説明 |
|----------------------|-------------------|------------|-------------------|-------------------|-----------------|-----------------|
| 指定管理料 | 15,969,000 | 0 | 15,969,000 | 15,987,696 | △ 18,696 | 横浜市より |
| 利用料金収入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| ボランティア等事業収入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 自主事業(指定管理料充当の自主事業)収入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 自主事業収入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 雑入 | 246,000 | 0 | 246,000 | 255,401 | △ 9,401 | |
| 印刷代 | 240,000 | 0 | 240,000 | 255,401 | △ 15,401 | コピー機・リソグラフ等利用料金 |
| 自動販売機手数料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 駐車場利用料金収入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| その他() | 6,000 | 0 | 6,000 | 0 | 6,000 | |
| 収入合計 | 16,215,000 | 0 | 16,215,000 | 16,243,097 | △ 28,097 | |

支出の部

| 科目 | 当初予算額 (A) | 補正額 (B) | 予算現額 (C=A+B) | 決算額 (D) | 差引 (C-D) | 説明 |
|---------------------|-------------------|------------|-------------------|-------------------|------------------|------------------------------------|
| 人件費 | 8,750,000 | 0 | 8,750,000 | 9,657,829 | △ 907,829 | |
| 給与・賃金 | 7,840,000 | 0 | 7,840,000 | 8,185,078 | △ 345,078 | |
| 社会保険料 | 580,000 | 0 | 580,000 | 814,418 | △ 234,418 | |
| 通勤手当 | 120,000 | 0 | 120,000 | 375,514 | △ 255,514 | |
| 健康診断費 | 10,000 | 0 | 10,000 | 6,719 | 3,281 | |
| 勤労者福祉共済掛金 | 0 | 0 | 0 | 6,000 | △ 6,000 | |
| 退職給付引当金繰入額 | 200,000 | 0 | 200,000 | 270,100 | △ 70,100 | |
| 事務費 | 1,348,000 | 0 | 1,348,000 | 611,192 | 736,808 | |
| 旅費 | 50,000 | 0 | 50,000 | 0 | 50,000 | |
| 消耗品費 | 360,000 | 0 | 360,000 | 297,600 | 62,400 | リソグラフインク・マスター等 |
| 会議賄い費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 印刷製本費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 通信費 | 135,000 | 0 | 135,000 | 56,054 | 78,946 | 後納郵便料金、郵券代 |
| 使用料及び賃借料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 横浜市への支払分 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| その他() | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 備品購入費 | 500,000 | 0 | 500,000 | 0 | 500,000 | |
| 図書購入費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 施設賠償責任保険 | 4,000 | 0 | 4,000 | 3,650 | 350 | |
| 職員等研修費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 振込手数料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| リース料 | 248,000 | 0 | 248,000 | 246,888 | 1,112 | コピー機、リソグラフリース料 |
| 手数料 | 25,000 | 0 | 25,000 | 7,000 | 18,000 | 会場使用料(ボランティアの集い) |
| 地域協力費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| その他() | 26,000 | 0 | 26,000 | 0 | 26,000 | 福利厚生費 |
| 事業費 | 1,234,000 | 0 | 1,234,000 | 742,883 | 491,117 | |
| ボランティア等事業費 | 292,000 | 0 | 292,000 | 0 | 292,000 | |
| 自主事業(指定管理料充当の自主事業)費 | 942,000 | 0 | 942,000 | 742,883 | 199,117 | 講座講師謝金、後納郵便料金、広報費(看板・ホームページ等) |
| 自主事業費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 管理費 | 4,253,000 | 0 | 4,253,000 | 3,851,862 | 401,138 | |
| 光熱水費 | 2,200,000 | 0 | 2,200,000 | 1,737,702 | 462,298 | |
| 電気料金 | 1,900,000 | 0 | 1,900,000 | 1,627,968 | 272,032 | |
| ガス料金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 水道料金 | 300,000 | 0 | 300,000 | 109,734 | 190,266 | |
| 清掃費 | 350,000 | 0 | 350,000 | 349,920 | 80 | |
| 修繕費 | 150,000 | 0 | 150,000 | 168,696 | △ 18,696 | 指定額 |
| 機械警備費 | 995,000 | 0 | 995,000 | 994,032 | 968 | |
| 設備保全費 | 100,000 | 0 | 100,000 | 82,896 | 17,104 | |
| 空調衛生設備保守 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 消防設備保守 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 電気設備保守 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 害虫駆除清掃保守 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 駐車場設備保全費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| その他保全費 | 100,000 | 0 | 100,000 | 82,896 | 17,104 | 紙折り機保守、コピーパフォーマンスチャージ |
| 共益費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| その他() | 458,000 | 0 | 458,000 | 518,616 | △ 60,616 | AEDレンタル、物品廃棄委託、第三者評価、看板掲出・管理委託(拠点) |
| 公租公課 | 630,000 | 0 | 630,000 | 602,300 | 27,700 | |
| 事業所税 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 消費税 | 630,000 | 0 | 630,000 | 602,300 | 27,700 | |
| 印紙税 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| その他() | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 支出合計 | 16,215,000 | 0 | 16,215,000 | 15,436,036 | 778,964 | |
| 差引 | 0 | 0 | 0 | 777,031 | △ 777,031 | |